

市長総括説明から

3月1日、平成25年第1回市議会定例会が開会しました。地球環境大賞の審査委員特別賞受賞や「ミシユラン・グリーンガイド・ジャポン」への城崎温泉などの掲載、六方川排水機場竣工について報告した後、提出議案を説明しましたので、その概要をお知らせします。

テムを構築し、指定避難所の地区集会施設の耐震化整備補助を創設します。住宅・学校の耐震改修を促進し、被災時の戸籍消滅防止のために戸籍システム改修をします。

新たに健康ワンプoint情報発信や未熟児養育医療費助成、肝炎ウイルス検査の無料クーポンの節目年齢者への発行を実施します。

独居高齢者等に救急情報キットを配布するなど、高齢者や障害者などの生活支援、介護サービスを進めます。

人と自然が共生するまち

コウノトリ生息地保全対策を進め、ラムサール条約登録エリア拡大を目指し、コウノトリ野生復帰の検証事業に着手します。

また、環境都市「豊岡エコバレー」実現に向け、東北大学大学院と共同で、「豊岡型ライフスタイル」の創造・実行の調査・研究を進めます。

まきストーブ導入助成を加え、豊岡エコポイント制度を推進し、循環型のまちづくりを進めます。

持続可能な「力」を

高めるまち

外国人観光客や首都圏・中京圏からの誘客促進を図り、志賀直哉来訪100周年、山陰海岸国立公園指定50周年記念事業も誘客につなげます。

農業では、若者の就農につながる「豊岡農業スクール」開設やコウノトリ育む農法の普及拡大、農業基盤整備を行います。

地域住民の森林・里山林整備補助を新設します。竹野地区漁港施設改修、田結漁港の浚渫、「津居山かに」のブランド化支援を継続します。

商工業では、宵田商店街活性化事業や南庁舎別館利活用事業等により市街地の活性化を図り、ものづくり企業等への支援、労働力確保支援、食の都づくり、環境経済事業拡大、産官学連携などに取り組みます。

北近畿自動車道関係の地籍調査を行い、市道阿金谷轟線などの整備を進めます。

イナカーやコバス、チクタクの運行、高校生の通学バス定期補助を継続します。

未来を拓く人を育むまち

子育て支援や少子化対策、教育環境整備に取り組み、心豊かな人材育成を図り、郷土愛

を育むまちづくりを進めます。

人生を楽しむ お互いを支え合うまち

歴史・伝統や香り高い優れた芸術・文化に触れることにより、お互いを尊重し、日々の暮らしを楽しむことのできるまちづくりを進めます。

また、生涯学習や交流の拠点づくりなどで、コミュニティ活動を推進し、地域力の向上を図り、お互いを支え合う自立したまちづくりを進めます。

市政の運営

豊岡地域では、玄武洞公園を活用したジオパークの拠点整備、コウノトリ野生復帰などの取組みをさらに強く国内外に情報発信し、地域の活性化を推進します。

城崎地域では、城崎総合まちづくり計画の推進、外国人向け観光ガイドブックの作成、無電柱化事業等を推進し、「日本一ゆかたの似合うまち 城崎温泉」を情報発信します。

竹野地域では、海・川・山を生かしたツーリズムにより参加体験型・滞在型の観光を進め、ジオコンシェルジュ育

成、竹野ジオエリア拠点施設整備などを行います。

日高地域では、スポーツのメッカ・観光スポットとして振興を図り、「兵庫・神鍋高原ジオウォーキング」を開催し、道の駅「神鍋高原」隣接地に新温泉施設を整備します。

出石地域では、出石永楽館を活用して文化の向上と地域の活性化を図り、伝統的建造物群保存地区保存事業を進め、奥山地区地域再生拠点等プロジェクトの施設を整備します。

但東地域では、但東花園を中心に、交流イベントやグリーンツーリズムなどにより、交流人の増加を図ります。たんとうぎすなプロジェクトを進めます。

参画と協働のまちづくりを進めるため、9月市議会からインターネットライブ中継で公開するシステムを整備し、「新しい、コミュニティのあり方実施計画」を策定します。

主要項目

安全確保推進事業

地域関係機関・組織を中心とした(仮称)市民安全確保推進会議を設け、安全確保行動

安全に安心して

喜らせるまち

円山川緊急治水対策事業、久田谷川浚渫などを行います。防災行政無線統合操作シス

マスタープランを策定します。

○平成25年度の

災害時職員配備体制

災害時の職員配備体制を見直し、本庁各部で事前にチーム編成をし、チーム単位で職員を派遣します。地域本部の災害対応は、初期段階に限ることとし、避難勧告、避難指示は支所長が行います。

○(仮称)朝来医療センター整備

公立豊岡病院組合は、地権者の施工同意が得られ次第設計業務に入ります。

○婚活事業への支援

(仮称)世話焼き結婚相談員などの婚活事業を支援します。

○生物多様性地域戦略の策定

検討委員会の提案を受け、今夏ごろに戦略策定予定です。

○北但ごみ処理施設整備事業

設計、建設、運営を一体的にした入札を公告。用地取得もほぼ終了しています。

○大規模太陽光発電事業

第2期山宮地場ソーラー事業の契約議案を提出しています。市遊休地・日高町堀のソーラー事業は6月に工事着手される予定です。

○騒音・悪臭の規制区域

および規制基準の見直し

規制区域・基準の設定権限

の市長への移譲を受け、設定の考え方を統一するために見直しを行います。

○地方公営企業会計制度の見直しと経営改善

地方公営企業会計制度の大幅な見直しが行われ、平成26年度予算・決算から適用されるため、平成25年度予算にシステム改修費および導入支援業務委託料を計上しています。また、上下水道事業の効果的な経営改善を進めます。

○経済成長戦略の推進

環境都市「豊岡エコバレー」と「大交流」の実現の二つを柱に取り組みます。

豊岡エコバレーの実現に向けて、環境と経済が共鳴する仕組みを磨き、広げ、発展させていきます。コウノトリ野生復帰をキーワードに知の集積・交流、国内外の連携を推進します。

大交流は、大交流アキションプランに基づき、目標達成に向けて全力を挙げます。

○平成25年度総務省「若手企業人地域交流プログラム」の実施

大都市圏の企業の若手職員

派遣を受け、地域の活性化と

地方と大都市圏とのネットワークの形成を図るプロジェクトにより、楽天トラベル(株)と(株)日立製作所から、各1人の派遣を受けます。

○NOMOベースボールクラブ

本拠地を本市に移したNOMOベースボールクラブの但馬後援会が組織されます。

○NHK大河ドラマを

活用したPR事業

NHK番組情報誌「NHKステラ」に、「川崎尚之助のふるさと出石紀行」と人気漫画家・ひうらさとるさんによる出石紹介の漫画を掲載します。また、会津若松市との交流事業を行います。

○農業共済事業に係る

事業の見直し

県農業共済組合連合会の助成金の縮減・廃止を受け、事業を見直します。

○カバン・アルチザン

スクエア事業

豊岡まちづくり株式会社

が事業用地等取得し、建物改修整備の実施設計に着手されました。

○(仮称)まちなか

ステーション整備事業

いちご駐車場用地をインフ

ォメーションの提供やイベントに利用できる多目的広場として整備します。

○北近畿タンゴ鉄道に対する

支援

北近畿タンゴ鉄道の基盤部分の維持経費や老朽化対策費、集客・増客対策費、設備整備費などを補助します。

○神鍋線上限200円バス

社会実験

利用者数は目標以下でしたが、一定の成果と地域・事業者の強い要望があるため、社会実験を1年間延長します。

○過疎地域戦略プロジェクト

城崎・竹野・但東の各地域が自ら実行するプロジェクトの活動を支援します。

○「幼稚園・保育所のあり方

計画」の事業進捗状況

港認定こども園の工期を6月末まで延長します。近畿大学弘徳学園の認定こども園の開設を補助します。

また、私立東保育園の運営

法人が決定しました。

○夢への挑戦応援事業(夢先生)

日本サッカー協会の協力を得て、市内小学5年生全児童を対象に、さまざまな種目の

一流選手などによる「夢授業」を行います。

○(仮称)城崎国際

アートセンター

城崎大会議館を、豊岡・城崎の魅力を最大限に生かした、アーティスト・イン・レジデンス機能を有する芸術文化創造拠点施設として整備します。

○豊岡市スポーツ推進計画策定

3月末に計画策定が完了する予定です。

○地区集会所施設整備補助

避難所指定の地区集会所施設の耐震化整備を補助します。

○新庁舎建設事業

7月25日完成に向けて、建設工事を進めています。8月に健康福祉部と上下水道部を除く本庁部署を移転します。

○平成25年度の市の組織体制

総合支所を支所として部から課に変え、政策調整部に位置付けます。支所には3係(総務係、地域振興係、市民福祉係)を設置します。

○事務事業評価から

政策評価への転換

事後評価から事前の作戦評価へ転換し、政策評価の手法に基づく事務改善・改革に取り組みます。